

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
11	左段 3	戦時中に強制的に <u>連行</u> されたりした人たち (→p.132)	戦時中に強制的に <u>動員</u> されたりした人たち (→p.132)
27	左段 15	たとえば「 <u>従軍慰安婦</u> 」や	たとえば「 <u>慰安婦</u> 」や (→p.132, 161)
27	左段 15		
132	21-23 側注	別紙 1- ①参照	別紙 1- ①参照
132	27		
132	27	多数の女性が <u>慰安婦</u> として	多数の女性が「 <u>慰安婦</u> 」として (→p.161)

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
144	31	<u>強制連行</u> で日本に連れてこられた	<u>強制的な動員</u> で日本に連れてこられた
199	左段 9-10	の年次報告で、太平洋戦争中に <u>朝鮮半島や中国か</u> <u>ら連行され</u> 、日本の鉱山や	の年次報告で、太平洋戦争中の <u>朝鮮半島からの強制</u> <u>的な動員や、中国からの連行により</u> 、日本の鉱山や
220	事項さくいん 「き」の項	恐慌 59, 117 行政改革 183 <u>強制連行 132, 144</u> 協調外交 109 協定関税制 35	恐慌 59, 117 行政改革 <u>183</u> 協調外交 109 協定関税制 35
133	8 側注	別紙 1- ②参照	別紙 1- ②参照

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
161	囲み	別紙 2・①参照	別紙 2・①参照
161	下半部	別紙 2・②参照	別紙 2・②参照

原文	訂正文
<p>①</p> <p>制度や名前を日本式に改める創氏改名<small>そうしかいめい</small>がおこなわれた。約70万人の朝鮮の人々が朝鮮総督府<small>ちうせんそうとくふ</small>の行政機関や警察の圧迫のもと、日本本土に強制連行され、苛酷な条件で危険な作業に従事させられた。戦争末期には徴兵制も実施され、また、多くの女性が挺身隊<small>ていしんたい</small>に集められた。台湾でも皇民奉公会<small>こうみんほうこうかい</small>が結成され、徴兵制が導入された。</p> <p style="text-align: right;">25</p>	<p>①</p> <p>制度や名前を日本式に改める創氏改名<small>そうしかいめい</small>がおこなわれた。多くの朝鮮の人々が朝鮮総督府<small>ちうせんそうとくふ</small>の行政機関や警察の圧迫のもと、日本本土に強制的に動員され、苛酷な条件で危険な作業に従事させられた。戦争末期には徴兵制も実施され、また、多くの女性が挺身隊<small>ていしんたい</small>に集められた。台湾でも皇民奉公会<small>こうみんほうこうかい</small>が結成され、徴兵制が導入された。</p> <p style="text-align: right;">25</p>
<p>②</p> <p>スなどの生物化学兵器も使用された。¹</p> <p>占領地では、日本軍に協力して植民地支配からの独立を考える指導者や民衆もいたが、日本の支配が強まるなかで、支配への抵抗が広がっていった。ベトナムでは、ホー・チ・ミン<small>1890~1969</small>の指導するベトナム独立</p> <p>²1990年代に入ると、中国政府の要請をうけた日本政府は、中国各地に化学兵器が残されたままになっていることを認め、資金を出して処理をおこないはじめた。</p>	<p>②</p> <p>スなどの生物化学兵器も使用された。²</p> <p>占領地では、日本軍に協力して植民地支配からの独立を考える指導者や民衆もいたが、日本の支配が強まるなかで、支配への抵抗が広がっていった。ベトナムでは、ホー・チ・ミン<small>1890~1969</small>の指導するベトナム独立</p> <p>²1990年代に入ると、中国政府の要請をうけた日本政府は、中国各地に化学兵器が残されたままになっていることを認め、資金を出して処理をおこないはじめた。</p>

原文

訂正文

の処理や、国境線や漁業権をめぐる紛糾から【在日アメリカ軍基地】
決裂していた。しかし、朴正熙政権の成立と、
1917~79

③千島列島を占領していたソ連に対して、日本は択捉島以南は固有の領土だと主張し返還を求めたが、ソ連は応じず、平和条約を結ぶことができなかった。

② 冷戦下に西側陣営の結束をはかるようとするアメリカの圧力で、交渉は急速に進み、1965年に日韓基本条約が結ばれた。この条約は韓国を朝鮮半島における「唯一の合法的な政府」としたことから、日本国内では、冷戦下の緊張を高めるという反対の声が起きた。

賠償協定を結んだ政府
ビルマ フィリピン インドネシア 南ベトナム
賠償を放棄した政府
インド 台湾 ソ連 中国

【賠償の状況】

④賠償や経済協力の実施にともない、日本企業が進出をはかった。その際、日本の政治家への多額の献金疑惑がささやかれた。

また、1952年に台湾の国民政府とのあいだに日華平和条約が結ばれたが、中国との国交正常化は、1970年代まで持ちこされた。
(→p.178)

② 連合国は、当初は日本に大きな賠償を求めていたが、冷戦のなかで、アメリカは日本の早期復興を重視して政策を変更した。サンフランシスコ平和条約では、賠償は原則として放棄され、日本に占領された国々の個別交渉にゆだねられた。タイなど8か国に対しては無償の経済協力(準賠償)などがおこなわれた。

戦後補償

日本が経済大国化し、かつアジア各国・各地域で民主化が進みはじめた1980年代になると、戦争中の日本によるさまざまな行為によってうけた不利益に対して、個人への謝罪や補償を求める動きが活発になった。しかし日本政府は、各政府との条約などによって補償問題は解決済みとする立場をとっている。

1990年代には「従軍慰安婦問題」に関して、1995年、政府と国民が協力して償いの気持ちを

あらわす基金(アジア女性基金)が発足した。この基金にかかわって、橋本龍太郎から小泉純一郎までの歴代首相は「いわゆる従軍慰安婦問題は、当時の軍の関与の下に、多数の女性の名誉と尊厳を深く傷つけた問題でございました」「わが国としては、道義的な責任を痛感しつつ、おわびと反省の気持ちを踏まえ、過去の歴史を直視し、正しくこれを後世に伝える」とする「元慰安婦の方への総理のおわびの手紙」を出した。

①

の処理や、国境線や漁業権をめぐる紛糾から【在日アメリカ軍基地】
決裂していた。しかし、朴正熙政権の成立と、
1917~79

③千島列島を占領していたソ連に対して、日本は択捉島以南は固有の領土だと主張し返還を求めたが、ソ連は応じず、平和条約を結ぶことができなかった。

② 冷戦下に西側陣営の結束をはかるようとするアメリカの圧力で、交渉は急速に進み、1965年に日韓基本条約が結ばれた。この条約は韓国を朝鮮半島における「唯一の合法的な政府」としたことから、日本国内では、冷戦下の緊張を高めるという反対の声が起きた。

賠償協定を結んだ政府
ビルマ フィリピン インドネシア 南ベトナム
賠償を放棄した政府
インド 台湾 ソ連 中国

【賠償の状況】

④賠償や経済協力の実施にともない、日本企業が進出をはかった。その際、日本の政治家への多額の献金疑惑がささやかれた。

また、1952年に台湾の国民政府とのあいだに日華平和条約が結ばれたが、中国との国交正常化は、1970年代まで持ちこされた。
(→p.178)

② 連合国は、当初は日本に大きな賠償を求めていたが、冷戦のなかで、アメリカは日本の早期復興を重視して政策を変更した。サンフランシスコ平和条約では、賠償は原則として放棄され、日本に占領された国々の個別交渉にゆだねられた。タイなど8か国に対しては無償の経済協力(準賠償)などがおこなわれた。

戦後補償

日本が経済大国化し、かつアジア各国・各地域で民主化が進みはじめた1980年代になると、戦争中の日本によるさまざまな行為によってうけた不利益に対して、個人への謝罪や補償を求める動きが活発になった。しかし日本政府は、各政府との条約などによって補償問題は解決済みとする立場をとっている。

1990年代には「従軍慰安婦問題」に関して、1995年、政府と国民が協力して償いの気持ちをあらわす基金(アジア女性基金)が発足した。こ

の基金にかかわって、橋本龍太郎から小泉純一郎までの歴代首相は「いわゆる従軍慰安婦問題は、当時の軍の関与の下に、多数の女性の名誉と尊厳を深く傷つけた問題でございました」「わが国としては、道義的な責任を痛感しつつ、おわびと反省の気持ちを踏まえ、過去の歴史を直視し、正しくこれを後世に伝える」とする「元慰安婦の方への総理のおわびの手紙」を出した。

※2021年、政府は、「従軍慰安婦」ではなく「慰安婦」という用語を用いることが適切であると閣議決定した。

①